

令和7年度鋸南町鋸南病院事業会計補正予算（第2号）

鋸 南 町

令和7年度鋸南町鋸南病院事業会計補正予算（第2号）

第1条 令和7年度鋸南町鋸南病院事業会計の補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

第2条 令和7年度鋸南町鋸南病院事業会計予算（以下「予算」という。）

第3条に定めた資本的支出の予定額を次のとおり補正する。

（資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額1,071千円は当年度分損益勘定留保資金1,071千円で補てんするものとする。）

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（ 計 ）
	収	入	
第1款 資本的収入	20,769 千円	1,200 千円	21,969 千円
第1項 企業債	8,300 千円	1,200 千円	9,500 千円
	支	出	
第1款 資本的支出	20,769 千円	2,271 千円	23,040 千円
第1項 建設改良費	8,300 千円	2,271 千円	10,571 千円

第 3 条 予算第 4 条に定めた起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法を次のとおり改める。

起債の目的	補 正 前				補 正 後			
	限度額	起債の方法	利 率	償還の方法	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
建設改良費	千円 8,300	普通貸付又は証券発行	年 5.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政府資金については、その融資条件による。銀行その他の資金については債権者との協定による。ただし、企業財政の都合により、据置期間及び償還期限を短縮し、又は繰上償還もしくは、低利に借換えすることができる。	千円 9,500	補正前に同じ	補正前に同じ	補正前に同じ

令和 7 年 1 2 月 9 日提出

鋸 南 町 長 白 石 治 和

令和7年度鋸南町鋸南病院事業会計補正予算（第2号）実施計画

収益的収入及び支出

（単位：千円）

款	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 病院事業収益	83,338	0	83,338	

（単位：千円）

款	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 病院事業費用	103,842	0	103,842	

資本的収入及び支出

（単位：千円）

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 資本的収入			20,769	1,200	21,969	
	1 企業債		8,300	1,200	9,500	
		1 企業債	8,300	1,200	9,500	病院設備改修事業の増

（単位：千円）

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 資本的支出			20,769	2,271	23,040	
	1 建設改良費		20,769	2,271	23,040	
		1 有形固定資産購入費	8,300	2,271	10,571	病院設備改修事業の増 1,215 千円 医療機器整備事業の増 1,056 千円

令和7年度鋸南町鋸南病院事業会計予算予定キャッシュ・フロー計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当期純利益	△ 22,220
減価償却費	23,112
資産減耗費	835
長期前受金戻入額	△ 2,416
未収金の増減額（△は増加）	1,038
支払利息及び企業債取扱諸費	<u>1,035</u>
小計	<u>△ 1,878</u>
支払利息及び企業債取扱諸費	<u>△ 1,035</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 2,913</u>

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得等による支出	△ 9,610
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,610

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

企業債の借入による収入	9,500
企業債の償還による支出	△ 12,469
他会計からの出資による収入	<u>12,469</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,500

現金預金の増加額	△3,023
現金預金の期首残高	<u>24,942</u>
現金預金の期末残高	<u>21,919</u>

令和6年度鋸南町鋸南病院事業損益計算書（前年度分）

（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

1. 医 業 収 益	千円	千円	千円
(1) その他医業収益	<u>1, 9 5 0</u>	1, 9 5 0	
2. 医 業 費 用			
(1) 経 費	6, 7 1 2		
(2) 減 価 償 却 費	2 1, 4 6 2		
(3) 指定管理者交付金	7 2, 9 0 5		
(4) 資 産 減 耗 費	<u>2 2 4</u>	1 0 1, 3 0 3	
医 業 損 失			9 9, 3 5 3
3. 医 業 外 収 益			
(1) 他 会 計 負 担 金	6 0 4		
(2) 他 会 計 補 助 金	7 7, 9 7 1		
(3) 長期前受金戻入	2, 4 3 1		
(4) その他医業外収益	1, 0 3 9		
(5) 消費税及び地方消費税還付金	6, 3 8 8	8 8, 4 3 3	
4. 医 業 外 費 用			
(1) 支払利息および 企業債取扱諸費	1, 0 1 2		
(2) 雑 支 出	<u>2, 0 6 5</u>	<u>3, 0 7 7</u>	<u>8 5, 3 5 6</u>
経 常 損 失			1 3, 9 9 6
当 年 度 純 損 失			1 3, 9 9 6
前年度繰越欠損金			<u>1, 4 8 2, 9 5 4</u>
当年度未処理欠損金			<u><u>1, 4 9 6, 9 5 1</u></u>

令和6年度鋸南町鋸南病院事業貸借対照表（前年度分）

（令和7年3月31日）

資 産 の 部

1. 固 定 資 産	千円	千円	千円	千円
(1) 有形固定資産				
イ. 土 地		62,673		
ロ. 建 物	1,051,068			
減価償却累計額	<u>△ 774,119</u>	276,949		
ハ. 構 築 物	153			
減価償却累計額	<u>△ 69</u>	84		
ニ. 機 械 備 品	150,397			
減価償却累計額	<u>△ 128,282</u>	22,116		
有形固定資産合計			<u>361,822</u>	
固 定 資 産 合 計				361,822
2. 流 動 資 産				
(1) 現 金 ・ 預 金			24,942	
(2) 未 収 金			<u>2,065</u>	
流 動 資 産 合 計				27,007
資 産 合 計				<u>388,829</u>

負 債 の 部

3. 固 定 負 債	千円	千円	千円	千円
(1) 企 業 債			<u>114,282</u>	
固 定 負 債 合 計				<u>114,282</u>
4. 流 動 負 債				
(1) 企 業 債			12,469	
(2) 未 払 金			<u>3,261</u>	
流 動 負 債 合 計				<u>15,730</u>
5. 繰 延 収 益				
(1) 長 期 前 受 金			146,957	
(2) 収益化累計額			<u>△ 120,635</u>	
繰延収益合計				<u>26,323</u>
負 債 合 計				156,335

資 本 の 部

6. 資 本 金	千円	千円	千円	千円
イ. 固 有 資 本 金		4,603		
ロ. 繰 入 資 本 金		1,669,245		
ハ. 組 入 資 本 金		<u>55,598</u>	<u>1,729,446</u>	
資 本 金 合 計				1,729,446
7. 剰 余 金				
(1) 利 益 剰 余 金				
イ. 当 年 度 未 処 理				
欠 損 金		<u>1,496,951</u>		
利益剰余金合計			<u>△1,496,951</u>	
剰 余 金 合 計				<u>△1,496,951</u>
資 本 合 計				<u>232,494</u>
負 債 資 本 合 計				<u>388,829</u>

注記

I. 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

- ・減価償却の方法 定額法による。
- ・主な耐用年数

建 物	7 ～ 39 年
構 築 物	10 年
機 械 備 品	3 ～ 15 年

2. 引当金の計上方法

(1) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績により回収不能見込額を計上するところであるが、従来からの債権の回収状況等を鑑み、極めて低いと見込まれるため、重要性の原則から貸倒引当金を計上していない。

3. 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

II. 貸借対照表等関連

1. 有価証券の保管

貸借対照表に計上していないが、鋸南町病院事業出納取扱金融機関契約に基づく担保品として、1,000 千円の有価証券を保管している。

令和7年度鋸南町鋸南病院事業予定貸借対照表（当年度分）

（令和8年3月31日）

資 産 の 部

1. 固 定 資 産	千円	千円	千円	千円
(1) 有形固定資産				
イ. 土 地		62,673		
ロ. 建 物	1,043,018			
減価償却累計額	<u>△ 778,317</u>	265,061		
ハ. 構 築 物	153			
減価償却累計額	<u>△ 83</u>	70		
ニ. 機 械 備 品	151,357			
減価償却累計額	<u>△ 131,315</u>	20,042		
有形固定資産合計			<u>347,486</u>	
固 定 資 産 合 計				347,486
2. 流 動 資 産				
(1) 現 金 ・ 預 金			21,919	
(2) 未 収 金			<u>1,027</u>	
流 動 資 産 合 計				22,946
資 産 合 計				<u>370,432</u>

負 債 の 部

3. 固 定 負 債	千円	千円	千円	千円
(1) 企 業 債			<u>101,222</u>	
固 定 負 債 合 計				<u>101,222</u>
4. 流 動 負 債				
(1) 企 業 債			<u>22,560</u>	
流 動 負 債 合 計				<u>22,560</u>
5. 繰 延 収 益				
(1) 長 期 前 受 金			143,352	
(2) 収益化累計額		<u>△ 119,446</u>		
繰延収益合計				<u>23,906</u>
負 債 合 計				147,688

資 本 の 部

6. 資 本 金	千円	千円	千円	千円
イ. 固 有 資 本 金		4,603		
ロ. 繰 入 資 本 金		1,681,714		
ハ. 組 入 資 本 金		<u>55,598</u>	<u>1,741,915</u>	
資 本 金 合 計				1,741,915
7. 剰 余 金				
(1) 利 益 剰 余 金				
イ. 当 年 度 未 処 理				
欠 損 金		<u>1,519,171</u>		
利益剰余金合計			<u>△1,519,171</u>	
剰 余 金 合 計				<u>△1,519,171</u>
資 本 合 計				<u>222,744</u>
負 債 資 本 合 計				<u>370,432</u>

注記

I. 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法 定額法による。

・主な耐用年数

建 物 7 ～ 3 9 年

構 築 物 1 0 年

機 械 備 品 3 ～ 1 5 年

2. 引当金の計上方法

(1) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績により回収不能見込額を計上するところであるが、従来からの債権の回収状況等を鑑み、極めて低いと見込まれるため、重要性の原則から貸倒引当金を計上していない。

3. 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。